



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 ダイダシ株式会社

上場取引所 東大

コード番号 1980 URL <http://www.daidan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 植林 信一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員業務本部長 (氏名) 河久保 弘和

TEL 06-6447-8003

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	81,854	13.9	452	—	359	—	△319	—
23年3月期第3四半期	71,836	△9.3	△407	—	△353	—	△402	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △178百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △644百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△7.16	—
23年3月期第3四半期	△9.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第3四半期	94,190		40,350		42.8	
23年3月期	96,306		41,259		42.8	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 40,279百万円 23年3月期 41,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	118,000	8.0	2,500	102.3	2,300	71.3	1,000	77.0	22.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 予想受注工事高「通期」116,000百万円

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	45,963,803 株	23年3月期	45,963,803 株
24年3月期3Q	1,313,258 株	23年3月期	1,280,170 株
24年3月期3Q	44,677,233 株	23年3月期3Q	44,696,177 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	8.0	2,500	99.8	2,300	69.6	1,000	74.2	22 38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考)予想受注工事高「通期」115,000百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の影響により依然として厳しい状況にある中で、サプライチェーンは立ち直り、企業の生産活動は上向きの兆しがみられたものの、急激な円高の進行及びその長期化、加えるに、米国景気の回復力は弱く、欧州の財政不安も依然として懸念される等、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましては、復旧及び復興工事の需要が一部あるものの、民間設備投資の回復に力強さはなく、かつ公共投資も低調に推移している等、受注環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような状況のもと、中期経営計画「原点に戻り活力あるダイダグンを実現する」に基づき、受注と利益の確保に取り組んでまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

受注工事高は、厳しい受注環境ながらも、前年同四半期連結累計期間比7,566百万円増の84,940百万円となりました。

完成工事高は、受注工事高の増加及び大型物件の進捗が進んだことにより、前年同四半期連結累計期間比10,017百万円増の81,854百万円となりました。

完成工事総利益は、完成工事高の増加により、前年同四半期連結累計期間比975百万円増の7,683百万円となりました。

営業損益は、完成工事総利益の増加を受け、452百万円の営業利益となりました。(前年同四半期連結累計期間は407百万円の営業損失)

経常損益は、営業利益の増加を受けたものの、為替差損231百万円等の発生により、359百万円の経常利益となりました。(前年同四半期連結累計期間は353百万円の経常損失)

四半期純損益は、経常利益の増加を受けたものの、投資有価証券評価損322百万円の発生及び繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額の増加67百万円等により、319百万円の四半期純損失となりました。(前年同四半期連結累計期間は402百万円の四半期純損失)

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は74,501百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,010百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金の減少(2,019百万円)及び現金及び預金の減少(208百万円)等によるものです。固定資産は19,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少いたしました。主な要因は有形固定資産の減少(80百万円)、無形固定資産の減少(135百万円)及び繰延税金資産の減少(317百万円)等が、投資有価証券の増加(200百万円)及び前払年金費用の増加(458百万円)等を上回ったことによるものです。

この結果、総資産は94,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,116百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は49,856百万円となり、前連結会計年度末に比べ875百万円減少いたしました。主な原因は、支払手形・工事未払金の減少(3,255百万円)等が未成工事受入金の増加(856百万円)、賞与引当金の増加(938百万円)及び工事損失引当金の増加(434百万円)等を上回ったことによるものです。固定負債は3,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ331百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少(230百万円)、退職給付引当金の減少(92百万円)等によるものです。

この結果、負債合計は53,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,207百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は40,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ909百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の計上(319百万円)及び剰余金の配当(714百万円)等が、その他有価証券評価差額金の増加(114百万円)及び為替換算調整勘定の増加(22百万円)を上回ったことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同水準の42.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想の修正及びその内容につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,938	23,730
受取手形・完成工事未収入金	48,839	46,819
有価証券	100	99
未成工事支出金	387	1,022
材料貯蔵品	0	0
繰延税金資産	1,092	1,077
その他	2,233	1,756
貸倒引当金	△80	△5
流動資産合計	76,512	74,501
固定資産		
有形固定資産	3,391	3,310
無形固定資産	763	627
投資その他の資産		
投資有価証券	7,033	7,234
繰延税金資産	1,350	1,032
前払年金費用	5,331	5,789
その他	2,978	2,514
貸倒引当金	△1,054	△820
投資その他の資産合計	15,639	15,749
固定資産合計	19,794	19,688
資産合計	96,306	94,190

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	36,344	33,088
短期借入金	6,645	6,631
未払法人税等	2	60
未成工事受入金	1,661	2,518
賞与引当金	—	938
役員賞与引当金	—	44
完成工事補償引当金	187	191
工事損失引当金	811	1,246
その他	5,079	5,137
流動負債合計	50,732	49,856
固定負債		
長期借入金	2,095	1,865
退職給付引当金	1,544	1,451
環境対策引当金	220	220
長期未払金	439	439
海外投資損失引当金	13	5
その他	0	0
固定負債合計	4,314	3,983
負債合計	55,047	53,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,809	4,809
利益剰余金	32,428	31,393
自己株式	△626	△642
株主資本合計	41,091	40,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	188
為替換算調整勘定	28	50
その他の包括利益累計額合計	102	238
少数株主持分	65	70
純資産合計	41,259	40,350
負債純資産合計	96,306	94,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
完成工事高	71,836	81,854
完成工事原価	65,129	74,170
完成工事総利益	6,707	7,683
販売費及び一般管理費	7,114	7,230
営業利益又は営業損失(△)	△407	452
営業外収益		
受取利息	17	11
受取配当金	119	138
受取保険料	151	98
その他	31	46
営業外収益合計	318	294
営業外費用		
支払利息	122	119
支払保証料	7	13
為替差損	122	231
その他	12	23
営業外費用合計	264	388
経常利益又は経常損失(△)	△353	359
特別利益		
固定資産売却益	1	27
投資有価証券売却益	48	—
貸倒引当金戻入額	178	—
移転補償金	—	34
特別利益合計	228	61
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	23
投資有価証券評価損	102	322
ゴルフ会員権評価損	—	11
特別損失合計	102	357
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226	63
法人税、住民税及び事業税	80	104
法人税等調整額	104	267
法人税等合計	185	371
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△412	△308
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	11
四半期純損失(△)	△402	△319

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△412	△308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	114
為替換算調整勘定	△5	15
その他の包括利益合計	△231	130
四半期包括利益	△644	△178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△634	△183
少数株主に係る四半期包括利益	△9	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別受注工事高・完成工事高・繰越工事高（連結）

（単位：百万円）

		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前連結会計年度	
		(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	
		金額	構成比%	金額	構成比%	金額	構成比%
受 注 工 事 高	電気工事	13,533	17.5	17,454	20.6	20,765	18.8
	空調工事	46,922	60.6	49,202	57.9	64,949	58.6
	水道衛生工事	16,917	21.9	18,283	21.5	25,036	22.6
	合計	77,373	100.0	84,940	100.0	110,751	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	39,242 2,052	50.7 2.7	51,245 7,379	60.3 8.7	55,395 2,301	50.0 2.1
完 成 工 事 高	電気工事	13,418	18.7	13,805	16.9	20,285	18.6
	空調工事	42,883	59.7	51,385	62.8	66,206	60.6
	水道衛生工事	15,534	21.6	16,663	20.3	22,733	20.8
	合計	71,836	100.0	81,854	100.0	109,224	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	32,880 3,436	45.8 4.8	40,185 4,479	49.1 5.5	50,294 5,809	46.1 5.3
繰 越 工 事 高	電気工事	9,737	11.0	13,751	15.7	10,101	11.9
	空調工事	60,354	68.1	52,876	60.3	55,059	65.1
	水道衛生工事	18,500	20.9	21,040	24.0	19,421	23.0
	合計	88,592	100.0	87,668	100.0	84,582	100.0
	(リニューアル工事) (海外工事)	22,420 3,543	25.3 4.0	32,234 4,319	36.8 4.9	21,174 1,419	25.0 1.7